

虹

編集代表	元兼正浩
編集・執筆	分担者
井上久美	翁 宜舟
王 晓燕	中村麻衣
能塚直美	野田敬子
平川陽子	広沢玲子
編集協力者	貝塚友宏
発行所	
福岡教育大学教育科	
「子どもと学校理解の	
体験学Ⅱ」Aグループ	



人物紹介 文和子

戸畑小学校の民族学級の訪問で、その学級の担当文和子さんと会った。歴史が原因で、日本に残った朝鮮人、韓国人の子孫は少ない。文和子さんもその中の一人である。そして、文和子さんは今まで自分が在日朝鮮人としてあるべき道をわれわれに語ってくれた。

在日三世である文和子さんの話によると、小さい頃から、日韓の歴史を知れば知るほど、日本人に負けない気持ちが強くなった。しかし逆に、日本で生まれ、そして育まれた文和子さんは、韓国語を話せない自分が韓国人と言えのりかたかなり悩んでいた。また中学の頃の文和子さんは韓国のイメージがきたない、黒い肌である。テレビで韓国のことが出るとどきどきしたそうである。

日本に在る現実と時に自分だけ韓国人だという寂しさに巻き込

まれた文和子さんは、この矛盾の心情をもって、九州大学に進学した。大学に入ってからは、文和子さんは韓国に近づこうとした。韓国語も習ったし、韓国にも訪ねた。しかし、最初の訪問は文和子さんにとってさらにその母国語を話せない悲しさと罪悪感に巻き込まれたそうである。このとき、文和子さんが初めて大学の親友に自分の矛盾の気持ちを語った。親友たちの支えがあったから、文和子さんは在日韓国人として自分なりの道を歩き続けた。

そして、韓国に二回目に訪れた時、文和子さんは「金光園」の金任順園長と出会った。金先生の「愛とは、国境を越えるもの」ということばが文和子の心に残った。ずっと迷っていた自分には大切なふさふさが二つあると思った。いまの文和子さんは、自分にとって大切な二つの国を調和する道を探ろうとしている。在日のことについて文章を書いたり、地元の小学

校でチャングを演奏したりしている。文和子さんの目的は皆にわたって在日のことを知ってもらおう、韓国の楽器に触ってもらおうということである。そして、週二回戸畑小学校で民族学級を教えて、「私を通して韓国を身近に感じ文化の違いを素晴らしいと思えるようになってほしい」というのである。

文和子が平静に自分が今までの在日韓国人として日本で自分なりの道を語った姿を見ると、松下幸之助の言葉を頭に思い浮かべた。「自分には自分に与えられた道がある。天与の尊い道がある。広い時もある。せまい時もある。のほりもあれば、くんだりもある。思索にあまり時もあおう。しかし、心を定め希望をもって進むならば、必ず道はひろげてくる深い喜びもでこから生まれてくる。」

『韓国・北朝鮮・在日コリアン 社会がわかる本』
辛 淑玉 ワニ文庫
へどこまで聞ける？ 教えてくれる？
『知っていますか？ 在日韓国・朝鮮人問題 一問一答』
梁 泰昊 解放出版社
へ知ったかぶりじゃ、分からない！
『「在日」としてのコリアン』
原尻 英樹 講談社現代新書
へ民族？ 国籍？ 考えたこと・・・ある？
（キャッチコピー 作・平川陽子）

論説

「日本人のための社会」のなかで

現在の日本には異文化的背景をもつた多くの外国人の子どもの中には自分の国籍について知らない子どもも存在する。

オールドカマーの子どもたちにも、ニューカマーの子どもたちにも、民族教育を受ける権利があり、また、日本で教育を受けながらも自分のアイデンティティが守られる権利がある。しかし、民族学校に通うには経済的に大きな負担がかかり、日本の学校と同等の教育内容を受けているにもかかわらず、それにふさわしい卒業資格が得られない。さらに社会に出て

も厳しい就職差別がある。日本の公立の学校には民族学級が設置されている学校もあるが、ほんの一部の地域に限られ、民族教育を公立の学校の中で受けるところで育った子どもはごくわずかである。また、日本語を話せない子どもへの日本語指導の支援システムも、自治体や学校のおかれてい

る地域性によって異なり、支援が十分でない場合はその負担は担任教師でしかないことになる。日本の一般的な学級、つまり、民族教育を行う機会や日本語支援システムのない学校の中の学級に、異文化的背景をもつ子どもが含まれるとき、教師はその子どもを含むようにしていけばよいのだろうか。

異文化的背景をもつということは、その子ども自身の個性の一つである。子どもはどんな子どもでも、それが様々な個性をもっている。子どもはお互いに自分の個性をぶつけ合って成長していくべきである。子どもの進歩道を選んでいくのではないだろうか。外国人の子どもが日本の教室に適応する必要もあるかもしれないが、子どもには民族意識をもち、アイデンティティが守られる権利があるのだから、日本人に同化させることはできない。かといって民族意識やアイデン

ティティを守ることは、決して強要されることでもない。したがって、教師が子どもに対してできることは、経験したことや学んだことをもとにして、子どもに接することだけではないかと思う。

コラムへ虹く

先日、異文化理解を通して学校の再発見・再理解を目的とする体験学Aグループで「在日問題」について話をしていたときのこと。在日韓国・朝鮮人の人が日本人の友達に自分が在日コリアンであることと打ち明けたときの友達への反応で傷つくことがあるという話題が出た。

ここで、自分が友達から「私は在日コリアンなんだ。」と告白されたときには、いったいどういう反応をすべきなのかということが大きな問題になった。「誰にも言わないから心配しないで。」などと返すことは、一見相手のことを思いやっているかのように見えるかもしれないが、実はとても傷つけていることになる。なぜなら、それは「言っていないことだ」と内心思っているんだということに相手に受け取られてしまうか

らだ。1月20日、戸畑小学校の民族学級の見学に行った。そこで私たちが出会ったのが、民族学級の担任である在日三世の文和子（ムン・ファジヤ）さん。彼女は私たちの突然の質問にも快く答えてくれた。これから私たちが友達や（教師）になった時には、こどもから、自分は在日コリアンだと打ち明ければならないと限らない。そんな時は、文和子は「もつとあなただのことは知りたい。」「朝鮮について教えて欲しい。」「返して欲しい」と嬉しそうに言った。

これは一例かもしれないが、私たちがとっては満足足の答えであった。文和子さんが在日コリアンだからこそ答えられることであらう。だからこそ自然な気持ちで、また、ある学校の先生が、修学

旅行に行くときに在日の子どもの日本の子どものパスポートの色が違うから目立たないようにという配慮から全員のパスポートにカバーをかけた。しかし、これが逆に子どもを傷つけたというニューエスについては、「カバーをかけた方がいいかどうかについては、本人の意見を聞いてあげて欲しい。」と文和子。

何に關しても、その本人の意見を聞くことが大切なのだ。民族学級の担任として子どもたちと接しているうちに、子どもは思ったより大人な考えを持っていることがわかってきたのだという。子どもたちの考えや思い、声にしっかりと耳を傾けることの大切さを感じた。（中村 麻衣）

また、ある学校の先生が、修学

数字で見る朝鮮学校

1 (イル) 일

現在、朝鮮学校は「1条校」ではない。朝鮮学校の日本政府への一番の要望は、「1条校」に準ずる待遇、つまり「1条校」に準ずる学校として認めしてほしいことである。

「1条校」とは、学校教育法第1条に、この法律で「学校とは、小学校、中学校、高等学校、大学、中等教育学校、高等専門学校、盲学校、聾学校、養護学校および幼稚園とする」と定められている。これに対し、「各種学校」とは、同法第八十三条で「第一条に掲げる以外のものとして、学校教育に類する教育を行うものは、これを各種学校とする」と定めたものである。朝鮮学校は、「各種学校」に属する。

「1条校」とは、各種学校との差は、補助金などの学校運営に關する費用の差があげられるが、その他、朝鮮学校を卒業しても大学受験資格がないことも重大な問題である。ようやく、1999年7月8日に文部省は朝鮮学校の卒業生にも大学資格検定(大検)の受験資格を認め、大検を受け、大学受験の資格を得ることができるようになった。

2 (イー) 이

学校を運営するときには、必ず運営費がいる。この運営費の中には、県や市からの補助金(教育助成金)がある。福岡県の朝鮮学校1校への補助金は年間2,000万円であり、また一人当たり補助金は、2万円である。朝鮮学校に対する補助金には、自治体間でも格差が見られ、大阪府では10万円、兵庫県では6万円となっている。義務教育期間の教育費は、日本の学校0円、朝鮮学校2,000万円という差になっている。

3 (サム) 삼

朝鮮学校の教育内容は、民族性を育む上で欠かせない国語(朝鮮語)、朝鮮の歴史、朝鮮の地理の3つの内容が特徴的である。その他の教科の教育内容は、日本の学校とほぼ同様である。文部省の学習指導要領改定に沿ってカリキュラムを改定するなど極力「1条校」の教育内容に近づけている。

国語(朝鮮語)は、小学校6年間で1601時間、中学校3年間で455時間である。2002年度からはそれぞれ1377時間と350時間に減らすというところである。朝鮮歴史は小学校6年生のときに週2時間、朝鮮地理は小学校5年生のときに週2時間ある。またこれらは中学校、高校でも学ばれる。

朝鮮学校内では、日本語と英語の授業以外はすべて朝鮮語で教えられ、生徒も日本語と英語以外はすべて朝鮮語を話さなければならぬ。学校内で日本語を話さないよう、表を作って友達同士でチェックしあったり、競い合ったりにして母国語で思考する能力を養うようにしている。(写真参照)

4 (サー) 사

朝鮮学校の授業料など学校納付金についてはどうだろうか。小学校では、月、12,750円、中学校では、月、21,750円、高校では、月、27,000円である。義務教育期間の教育費負担は、生徒一人当たり30.6万円別ラスタル付金である。その他別途納付金をアラスとする義務教育6年間でその負担は、約450万円以上の負担になるという。これは、民族教育を受けさせること自体非常に難しい事を示している。

5 (オー) 오

現在、日本には朝鮮籍、韓国籍、在日朝鮮・韓国人の新たな出発として朝鮮総連の結成があった。朝鮮総連は、教育における主体性の確立(民族学校)の整備および民族学校の(再)建をその主たる目標とした。また朝鮮総連は今、在日朝鮮人が生活し朝鮮人社会を形成していく上で、その政府のようなものだろう。朝鮮学校で使う教科書の発行や制作、補助金の支給、教師の配属など朝鮮学校に關する全般的なことを行う。もちろん教育方面だけでなく、いろいろな社会活動を行っている。総連福岡県本部結成(17支部、93分会)は1955年6月18日のことである。

6 (ユク) 육

在日朝鮮・韓国人約70万人のうち約6%の4万人以上が朝鮮学校に通っている。学校の数は、小学校1校、高級学校12校、中級学校50校、初級学校75校、幼稚園62園である。

北九州市における新一年生の就学率は、1988年に比べ1998年には6%増である。しかしながら現在、少子化のため1988年に朝鮮学校へ入学した子ども数の39人に対し、1998年に朝鮮学校へ入学した子ども数は24人である。このことは、在日朝鮮・韓国人が減少しつつあることともつながっている。

7 (チル) 칠

現在、日本には朝鮮籍、韓国籍、在日朝鮮・韓国人の約70万人の朝鮮人が住んでいる。1910年の日韓併合前の在日朝鮮人はわずか790人であったが、日韓併合後、在日朝鮮人の数は急激に増え、1945年には約240万人であったという内務省の統計がある。日本にわたってきた理由は、「徴兵」「徴用」「従軍慰安婦」などに

8 (パル) 팔

福岡県は、年間4校の朝鮮学校に各々200万円の合計800万円の補助金を支給している。福岡県の平成9年度の「私学補助金」当初予算にみる一人当たり補助額をみると、高校生は、249万円、振興特別交付金、219万390円、幼稚園児・私立幼稚園振興特別交付金、118,180円である。この金額が、朝鮮学校に適用されれば、合計1億5千47万2,300円の補助額となり、800万円との差額は歴然としている。

9 (ク) 구

朝鮮学校のほか、福岡県下では1950年頃から「民族学級形式」で民族教育を維持していた。11名の教師が講師の資格で8000名の児童・生徒のうち700名を対象に課外授業形式で民族教育を行ったのである。「民族学級」の設置状況は小学校10校、中学校2校であるが、このうち小学校8校、中学校1校の計9校は北九州市にあって、つまり、民族学級を設置している少・中学校の12校のうち9校は北九州市にあって、この民族学級は九州で、北九州市に3校あるだけになってしまった。

10 (シブ) 십

福岡県が支給する補助金は朝鮮学校と日本の私立学校ではほとんど違うのだろうか。福岡県の場合、朝鮮学校と日本の私立学校との格差は10倍以上である。幼稚園児の例をとってみると、私立学校の場合111,116円に對

※ 県下朝鮮学校所在地自治体の支給状況(1998年度)

自治体名	対象数	年間補助額	年間1人当	月間1人当
福岡県	617名	8,000,000	12,966	1,080
福岡市	85名	1,500,000	17,647	1,471
北九州市	467名	2,000,000	4,283	357
飯塚市	65名	550,000	8,462	705

し朝鮮学校は0円である。また、私立学校への補助金には在日朝鮮人が納めた税金も含まれている。しかし、北九州市の例を見てみよう。北九州市の一般会計予算総額5,521億5,400万円、教育費支出予算485億5,896万円、北九州市の総人口1,023,611人、朝鮮・韓国籍8,613人、市民一人当たりの市税159,670円、以上より朝鮮初中学校への還元されるべき教育費(在籍率20%として)は、2,420万円である。つまり朝鮮・韓国籍の人が納めた税金の朝鮮学校への還元率は、わずか10%以下である。(広沢 玲子)

『青春学校』

「であい・ふれあい・まなびあい」

青春学校事務局

「青春」からこの本が生まれました。

『在日朝鮮人の生活世界』

原尻 英樹 弘文堂

「帰化するともれなく「善良な市民」になることが義務づけられます。」



みんなの広場

福岡教育大学では昨年度から、「子どもと学校理解の体験学」という授業が行われています。この授業は「教育学」研究に必要な子どもを観や学校観、教育観、人間観などを「捕らえる力」を創造・深化させることを目的として

います。今年の「子どもと学校理解の体験学Ⅱ」は3つのプログラムに分かれまして、いろいろなお教育現場へ勉強に行きました。元兼先生のAグループ「異文化理解を通しての学校再発見、再理解」に

関わり、一緒に朝鮮高級学校を訪ねた福岡教育大学の飯田先生や留学生、現在日本の小学校で勉強している本学留学生の子どもと一緒に書いてもらいました。(王 曉燕)

九州朝鮮高級学校見学 教育科 飯田史也

「福教大の九州朝鮮高級学校の見学は、飯田が本学に着任した1989年度から開始したから、本年度が11回目の訪問となった。学校見学には、留学生も日本の学生も、ひととおりの子習を終えて出かける。だが、実際に学校に入ると、民族学校を取り扱った書籍やテレビ番組を見て予習しただけでは気づくことのない文化的

事象が垣間みられて興味深い。各国の留学生と一緒に出かけたからこそ気づいたこともあるし、飯田自身何度か見学を重ねてゆくうちに知ったこともある。今回はそのいくつかを書き列ねてみたい。

*生徒たちのバイリンガル度は生半可なものではないこと

授業が基本的にすべて朝鮮語で行われることを頭で理解しているも、実際に教室に入ると見ると、やはり生徒たちの語学力は驚いてしまう。そして帰りの電車の中で彼らがコテコテの福岡弁で話しているのを見て、その感は一層

強まる。二つの使用言語が、生徒のパブリックな学校生活と、プライベートな放課後や家庭生活とをくつきりと分けているのだ。「家庭で朝鮮語を使うのは照れくさいものですよ」という高級学校の先生の言葉も、なるほど飯田には強く印象に残った。

*生徒同士が、お互いを名字でなく下の名前と呼びあっていること

「金」「李」「朴」など、クラスに同姓がたくさんいる以上、互いを下の名前と呼ばなければ混乱して不便ということもあろうが、幼稚園から高校まで、幼なじみがつくと持ち上がってきた友人関係による、進学するたびに仕切り直しが行われる日本の学校での友人関係との、大きな違いの一つである。

*生徒たちのかなりが、大韓民国の国籍であること

我々はつい、高級学校では先生も生徒たちもみな、北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)の国籍であるかのような先入観を持つ。しばしば同様の誤解がみられるのだが、先日学校でもうかがったように、生徒と先生には韓国籍の人も多い。たとえ本国の政治体制が違っても、生徒たちは一つの民族意識の元、同じ学校に集まってきているわけである。

*韓国の留学生によると、生徒たちの朝鮮語には、半島北部地方の伝統的発音がみられるということ

アメリカやブラジルの日系人社会には、かつて移民の多かった福岡県や広島県の方言イントネーションや、伝統的な美しい日本語表現が、現代日本社会の「ことばの変化」の影響を受けることなど残っている。おそらく同様の社会言語学的現象が、在日コリアン社会にもあるのかもしれない。

*朝鮮大の新生入生には、全国12高級学校それぞれの出身校カラーがあるらしいこと

全国で同じ教育を受けていても北海道から九州まで12の高級学校にはそれぞれスタイルカラーがある。また在日コリアン文化にも、北海道から九州までそれぞれの生活地域によって、若干の差異がある。各地域の高級学校生徒が、出身校ごとに2の学校文化を持って、東京の朝鮮大に集まってくるのは興味深い。そして12の高級学校の各クラブには、高級学校同士の互いのライバル校があるのだ。数年前の九州高級学校の見学では、あるクラブの部屋に「打倒山口朝高」と書いてあるのをみたことがある。今後、スポーツの分野に限らず、日本校との交流の門戸が開かれ、高級学校と日本の高等学校とが、互いのライバル校になってゆくことを願わずにはいられない。

2) 朝鮮高級学校の見学 中国 徐香春

九州にある唯一の朝鮮高級学校の見学ができて、日本の普通の高等学校とシステムがちよと違うことも分かった。授業に入ってみたら、先生は朝鮮語で講義し、もちろん生徒たちが読むテキストも全部朝鮮語だった。教室の壁に貼ってある授業のスケジュールも全部朝鮮語で表している。生徒たちも日本の高校生と同じようにみんな制服を着ているけれど、女の子たちが着た制服はチャマゴゴリだった。また、日本の学校と違うのはこの学校の先生たちも制服を着ている。男性たちは普通の洋服だけど、女性たちは学校に出勤したら必ずチャマゴゴリを着て仕事をします。また、「男尊女卑」の思想が残っているのが見られる。女の学生たちが言ったのは、よく電車の中で多くの人にじつと見られるのがいやだった。

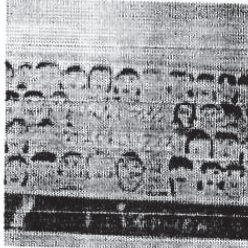
また学生たちは、いろんなクラブ活動に参加しても、全国で行われている試合には出る事ができません。学校では朝鮮語で話しても、学校を出たら、みんな日本語でペラペラ話せる。将来の夢を聞いたら、朝鮮学校の先生になりた

い、スチューデントになりた、範囲はちよと狭いです。自分の民族の文字を忘れないように、自分の国のことも知らなければならぬという教育システムが行われています。民族を愛し、国を愛し、立派な人に育て、自分の国のため、朝日両国の友好のため、がんばっています。

3) わたしの学校生活 (フィクション) クリスタカフツト

わたしは外国人です。でもわたしがこう生活はどつても楽しいです。先生たちや友だちなどはなすはむずかしいけどどつてもがんばっています。日本語やタラスのペンキようでなすはむずかしいことばがあるけどがんばるといことばがいつもあたまの中にあります。

学校生活とは学年でペンキようしたり、いろんな国のことをしらべたり、料理をつくらたり、歌をうたたりします。勉強は楽しいです。テストの時には百点ができなくても、よくがんばると先生がいてくれたら、うれいいます。この前、学芸会でちよいさいました。それは自分が遅いので先生が遅いと言われました。はずかしいと思つたんですけど、これからがんばります。



川柳 詠み人 野田敬子 一条校 ゆすらぬこだわり 二百キロ 近くて遠い 文部省 出身地 二百キロ 結婚相手の キーワード

三文随想「告白」 深い溝 今次(体験学Ⅱ)の授業を通じて、私はしばしば生まれ故郷の北九州の地を歩いた。二十数年ぶりに訪れた戸畑・浅生通りは繁華街として賑わっていた当時の面影が、入塵もなく、駅前も再開発の手が入り子ども時分とは一変していた。同様に、JR折尾駅、黒崎駅ともに正面の風景は昔とは横変わりしてしまっている。

一方、訪問先である朝鮮学校の鉄の街を感じさせる裏通りにあった。企業都市、北九州市のベッドタウンである八幡西区の住民は自由に憩えるような海岸線を越えた北側の地区に足を運ぶことはこれまでほとんどなかった。偽らざる気持ちと正直に告白すると、そこでは何かしらの空気のちがいを感した。もちろんそれはかつて城山(しろやま)小学校が閉校に追い込まれる原因ともなった七色の煙のせいではない。北

『外国人が公務員になったって いいじゃないかという本』 岡 義昭・水野精之編 径書房 変だよ。 「夢」は「国籍」を超えるんだよ。 『むくげの花は咲いていますか』 作・坂井ひろこ 絵・太田大八 解放出版社 <日本でつらい抗夫生活を始めることになった、ある朝鮮人農夫の話>

九州市で成人まで育てられた私に植え付けられた感覚が言葉にならぬ空気を感してしまふのである。 そうした感覚は高級学校へと続く坂道でもよみがえる。同じ折尾にある高校に3年間通いながら、この坂道を歩いたのは実は今回初めてというのはいったいどういことか。すっかり忘れていたはずの記憶もしいに蘇ってくる。高校の同級生に金村(かねむら)という男がいた。「空手」の達人で、なぜか「キンソン」と呼ばれていた。当時、金村(キンソン)はこの坂で高級学校の生徒と喧嘩して問題になったことがあった。 彼が在日朝鮮人であることを私が知ったのは、大学4年時に母校での教育実習でたまたま彼と一緒にあった折のことである。彼は教員免許状を取得してどうせ採用されないとい嘆いていた。パブル景気に向かう時期であったにもかかわらず、一般企業への就職もむづかしいだろうからと卒業後そのまま海外に旅立ってしまった。 彼がどうして「空手」にあれほどの情熱を燃やしていたのか、周囲の友達からなぜ「キンソン」とよばれていたのか。そして金村が朝鮮高級学校の生徒達と喧嘩した原因は何だったのか。高校生どうしのよくある「せりあい」だったのか、それとも?。(元兼正浩)

『日本定住コリアンの日常と生活 文化人類学的アプローチ』 原尻英樹 明石書店 <『日本人』らしく生きればよい。これは「誰」の言葉でしょう?>

1年3月30日 火曜日 10版 虹新聞 4

ニュース解説

見た目が朝鮮人であらう

韓国・朝鮮という言葉を開いて私たちが想像するものは何だろうか。それはキムチやチャマ・チョゴリではないだろうか。

朝鮮中高級学校ではチャマ・チョゴリが女子生徒の制服となっている。顔立ちだけでは日本人と全く区別することができない朝鮮人が、朝鮮人であるというからだ。北朝鮮の「核疑惑」や「ミサイル発射」などが報道されるたびに、チャマ・チョゴリを着た女子生徒に対する嫌がらせが増しているという。本来民族意識を高めるため、国を大切に想う気持ちからきていたチャマ・チョゴリであるが、それが裏目に出て自分自身を傷つけてしまっている。それはキムチやチャマ・チョゴリを着ての通学は危険とみなした日朝鮮人総連合会は、ついにチャマ・チョゴリでの通学の強制を取り止めた。

自分が朝鮮人であることを、自分が何者であるかを表現できずに、カラに閉じこもらなければならぬ。ほとんどの者が一生日本で暮らしていくというのに、それでいいのだろうか。日本の外にも目を向ける、同じ地球に共存していくといった「国際化」という近年はやりの言葉と矛盾してはいないか。

(能塚 直美)

ローカルニモーン 芋掘りを通した心の交流

青春学校では、若い頃に戦争や生活苦やさまざまな差別の中、思うように勉強することができなかった。おばあさん・オモニ(おかあさん)、日本人女性が、もっともつと勉強したいとの熱い思いを胸に抱いて、公民館に集い、ボランティアと共に学習と交流をしている。

年齢も50代から80代までと様々である。識字学校は鉛筆の握り方から始まり、今では手紙や年賀状が書けるようになってきている人も多い。

そんな「青春学校」のおばあさん、おかあさんたちと、平尾台の自然を通して多様な体験をする「ひらおだ自然塾」の子どもたちとの合同の芋掘りが1999年11月13日(土)にあつた。掘った芋を焼いている間は、チヂミや手作りキムチなどの韓国料理の混じった昼食をとり、チャングと呼ばれる太鼓や音楽に合わせた朝鮮の歌や踊りを一緒に楽しんでいた。芋が焼けてくれば、焼き上がった芋を「熱い!熱い!」と言いつつ、おばあさんたちのもとへとせせと運が子どもたちの姿がほほえましかった。

青春学校は、読み書きを習う、教えるだけではないのだ。このような文化や心の交流も交わされている。自然塾の子どもと青春学校のおばあさんたちは、たった一日のことだったが、心なごみながら打ち解けるところまではいっていた。しかも一年に一回恒例となったこの芋掘りも、おばあさんもおばあさんもお楽しみしている。核家族社会で実の祖父母と孫たちの交流も少ない。

スポーツ

高校総体サッカー 大阪代表朝鮮学校 全国大会出場

全国高校総合体育大会のサッカー予選決勝リーグで、金光大阪高を2対0で破った大阪朝鮮高級学校が優勝し大阪代表となった。学校教育法で「各種学校」とされている朝鮮高級学校は、長らく全国大会への出場が認められなかった。日本高校野球連盟が九一年度から外国人学校の大会参加を認め、全国高校体育連盟は九四年から高校総体の門戸を開放した。この優勝決定の日、保護者やOBらはスタンドに詰めかけ悲願の達成を喜んだ。しかし一方で、朝鮮高級学校では強いサッカーチームを育てられる条件がほとんど失われつつある。朝鮮高級学校は民族教育を中心に独自のカリキュラムを「各種学校」として扱われるため、同じ税金を払っているにもかかわらず、一般の学校に比べ補助金にも恵まれない。

今回の大阪朝鮮高校の全国大会出場が民族教育理解へのきっかけとなることを期待したい。

(井上 久美)

在日の野球選手たち

一九八一年、夏の甲子園大会で、エースで四番として報徳学園優勝の原動力となった金村義明選手は、近鉄パナソニックにドラフト一位で入団し、一九九二年には近鉄の選手会長となった。在日韓国・朝鮮人であることをはっきりと打ち明けた金村選手は、「差別に負けないよう、勉強でもスポーツでも一番になれ」と言われて育ち、三〇〇〇本安打の大記録を残した張勳張本勲を目標に野球を続けてきた。在日韓国・朝鮮人であることを誇りにしているから、隠す気はない。帰化もしない。誇りがある。金村選手は日本でも通じている。この一九八一年の甲子園では、準優勝の京都商業には二名の本名の選手もおり、報徳と両校合わせて七人の在日韓国・朝鮮人選手がいたことで話題になった。

それから七年、一九八八年の夏、八一年の京都商の二選手以来の本名選手が甲子園大会に出場した。松山商業高校の選手として出場した金潤熙(キム・ユニ)さんはその後社会人野球、川崎製鉄神戸の四番打者として、プロ入りを目指して二十歳の青年になっていた。九十年の入社当初は「通名で登録したら」との話をもらった。「民族意識がより生みだす」と金潤熙は、ほかに考えられなかった。金潤熙さんは言う。通名で通じてきた両親が「在日三世のわが子には、真っ直ぐに民族に誇りを持って生きてほしい」とと本名だけで通すことにした。

特別に意識もせず、差別も受けずに本名で通じてきた金潤熙さんが、指名有力とみられながら結局見送られた九三年のドラフト会議の後には、家族で本名のこと話題となった。「もし日本本名が指名されたら、名前には民族の誇りは大事だが、名前にこだわらなくていいか。いっぽうで、被害者意識と言いつつ、結局「もし、同じ力なら日本人のほうを採用するだろう」(父、童海さん)という結論にたどりついた。

翌年、不況のあおりによる廃部を目前に川崎製鉄神戸は社会人野球日本選手権で四強入りを果たした。

「ばくばく力がなかった。スカウトがちゃんと見ていたということ。本名や国籍のせいにしたら、多くの野球人生はおしまいです。通名にしてもダメだったらみじめで、これで育つていなくてよかった。ここでまた鍛え直します。潤熙さんの声は沈んでいなかった。ドラフト一位でプロ野球に入った金村義明選手とドラフトで指名されなかった金潤熙さんは、二人とも帰化していない韓国朝鮮籍の選手である。二人の違いは本名に実力の違いだけなのだろうか。三〇〇〇本安打の張本勲、完全試合の藤本英雄、四百勝投手の金田正一(韓国)、日本の球界で活躍した。在日韓国・朝鮮人の名選手は多い。しかし、本名でプレーした選手はいない。在日韓国・朝鮮人の選手を韓国プロ野球からやってくる外国人選手と単純にひとくくりにして、そうでなかったら、日本人に同化させようという話はないだろうか、と疑ってしまう。在日韓国・朝鮮人がなぜ日本で生活しているのかを考えなければならぬ。

金村選手や潤熙さんたちの言葉からは、在日韓国・朝鮮人は日本人より抜き出た実力をもっていないと、社会に認められないという現実が見えてくる。

(井上 久美)

チャマ・チョゴリ通学時は廃止

朝鮮学校、新年度から

暴力や嫌がらせ増加で

全国高校総合体育大会で学生選手権を制したチャマ・チョゴリを着た女子生徒の制服となっている。顔立ちだけでは日本人と全く区別することができない朝鮮人が、朝鮮人であるというからだ。北朝鮮の「核疑惑」や「ミサイル発射」などが報道されるたびに、チャマ・チョゴリを着た女子生徒に対する嫌がらせが増しているという。本来民族意識を高めるため、国を大切に想う気持ちからきていたチャマ・チョゴリであるが、それが裏目に出て自分自身を傷つけてしまっている。それはキムチやチャマ・チョゴリを着ての通学は危険とみなした日朝鮮人総連合会は、ついにチャマ・チョゴリでの通学の強制を取り止めた。

自分が朝鮮人であることを、自分が何者であるかを表現できずに、カラに閉じこもらなければならぬ。ほとんどの者が一生日本で暮らしていくというのに、それでいいのだろうか。日本の外にも目を向ける、同じ地球に共存していくといった「国際化」という近年はやりの言葉と矛盾してはいないか。

(能塚 直美)

論壇



小栗 久美

チャマ・チョゴリと民族教育

朝鮮学校は、在日韓国・朝鮮人の子弟が通うための学校である。その目的は、民族意識を高め、母国文化を継承することにある。しかし、近年、チャマ・チョゴリを着た女子生徒の制服が、日本人と区別できない朝鮮人であることを示しているという理由で、嫌がらせや暴力にさらされているという報告が増えている。これは、民族教育の目的と相反する結果を生み出している。民族教育とは、単に母国文化を伝えるだけでなく、在日子弟が社会で生きていくための力を養うことである。チャマ・チョゴリは、在日子弟のアイデンティティを確立させるための重要なシンボルである。しかし、それが差別の標的となってしまうのは、民族教育の本来の目的を損なっている。民族教育は、在日子弟が社会で生きていくための力を養うことである。チャマ・チョゴリは、在日子弟のアイデンティティを確立させるための重要なシンボルである。しかし、それが差別の標的となってしまうのは、民族教育の本来の目的を損なっている。民族教育は、在日子弟が社会で生きていくための力を養うことである。チャマ・チョゴリは、在日子弟のアイデンティティを確立させるための重要なシンボルである。しかし、それが差別の標的となってしまうのは、民族教育の本来の目的を損なっている。

一九八一年、夏の甲子園大会で、エースで四番として報徳学園優勝の原動力となった金村義明選手は、近鉄パナソニックにドラフト一位で入団し、一九九二年には近鉄の選手会長となった。在日韓国・朝鮮人であることをはっきりと打ち明けた金村選手は、「差別に負けないよう、勉強でもスポーツでも一番になれ」と言われて育ち、三〇〇〇本安打の大記録を残した張勳張本勲を目標に野球を続けてきた。在日韓国・朝鮮人であることを誇りにしているから、隠す気はない。帰化もしない。誇りがある。金村選手は日本でも通じている。この一九八一年の甲子園では、準優勝の京都商業には二名の本名の選手もおり、報徳と両校合わせて七人の在日韓国・朝鮮人選手がいたことで話題になった。

それから七年、一九八八年の夏、八一年の京都商の二選手以来の本名選手が甲子園大会に出場した。松山商業高校の選手として出場した金潤熙(キム・ユニ)さんはその後社会人野球、川崎製鉄神戸の四番打者として、プロ入りを目指して二十歳の青年になっていた。九十年の入社当初は「通名で登録したら」との話をもらった。「民族意識がより生みだす」と金潤熙は、ほかに考えられなかった。金潤熙さんは言う。通名で通じてきた両親が「在日三世のわが子には、真っ直ぐに民族に誇りを持って生きてほしい」とと本名だけで通すことにした。

特別に意識もせず、差別も受けずに本名で通じてきた金潤熙さんが、指名有力とみられながら結局見送られた九三年のドラフト会議の後には、家族で本名のこと話題となった。「もし日本本名が指名されたら、名前には民族の誇りは大事だが、名前にこだわらなくていいか。いっぽうで、被害者意識と言いつつ、結局「もし、同じ力なら日本人のほうを採用するだろう」(父、童海さん)という結論にたどりついた。

翌年、不況のあおりによる廃部を目前に川崎製鉄神戸は社会人野球日本選手権で四強入りを果たした。

「ばくばく力がなかった。スカウトがちゃんと見ていたということ。本名や国籍のせいにしたら、多くの野球人生はおしまいです。通名にしてもダメだったらみじめで、これで育つていなくてよかった。ここでまた鍛え直します。潤熙さんの声は沈んでいなかった。ドラフト一位でプロ野球に入った金村義明選手とドラフトで指名されなかった金潤熙さんは、二人とも帰化していない韓国朝鮮籍の選手である。二人の違いは本名に実力の違いだけなのだろうか。三〇〇〇本安打の張本勲、完全試合の藤本英雄、四百勝投手の金田正一(韓国)、日本の球界で活躍した。在日韓国・朝鮮人の名選手は多い。しかし、本名でプレーした選手はいない。在日韓国・朝鮮人の選手を韓国プロ野球からやってくる外国人選手と単純にひとくくりにして、そうでなかったら、日本人に同化させようという話はないだろうか、と疑ってしまう。在日韓国・朝鮮人がなぜ日本で生活しているのかを考えなければならぬ。

金村選手や潤熙さんたちの言葉からは、在日韓国・朝鮮人は日本人より抜き出た実力をもっていないと、社会に認められないという現実が見えてくる。

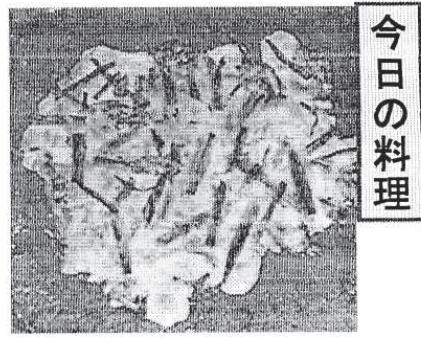
(井上 久美)

参考文献
石井昭男「ともに生きる、知る、考える。在日韓国・朝鮮人と私たち」明石書店 1992年。
谷茂男「三番センター金くん」ハドウトに「漏れた」在日という人生」愛媛新聞社 http://www.asnet.or.jp/yuni

某国が子どもに差別をさせている。在日の人たちの存在に普段は気がつかない

言葉は通じても文化や思考背景は通じにくいこともある

日本にいてからってみんなが日本語を話せるわけじゃない



今日の料理

チヂミのレシピ

材料 (8~9枚分)

- ・チヂミ粉 (500g)
- ・チヂミのたれ
- ・水 (900cc)
- ・塩 (大きじ一杯)
- ・ニラ (2束)
- ・にんじん (中2本)
- ・じゃがいも (1コ)

作り方

- ①チヂミ粉に水を加えよくかき混ぜる。塩を入れる。
- ②ニラ・にんじん・じゃがいもは適当な長さに千切りをし、①に加える・・・(A)
- ③フライパンに油を少し多めに引く。おたま1杯程度の(A)をとり、丸くしながら焼いていく。このとき薄めにとると早く焼き上がる。返すときは、チヂミをくずさないように注意する。
火が通ったら出来上がり。
(*このときチヂミを押さえつけないのがコツ)
- ④そのまま食べてもおいしいけど、チヂミのタレをかけるとピリッとした辛さがあるのが最高です。
*チヂミの材料では、上にあげたもの以外に、キムチ、いか、えびなども好みに合わせて入れると一層いいでしょう。また余裕があれば、たまご1コとじゃがいもをすりつぶしたものを1コを入れるのもグーです。
(写真は2000年7月13日に研究室で作ったものを撮影)

(マンガ画: 能塚直美)

子どもと学校理解の体験学Ⅱ (A. 異文化理解グループ)

- 10/18 4限 全体オリエンテーション
- 5限 ガイダンス (メンバー紹介、今後の計画、参考文献配布)
- 10/25 4限 講義「在日問題とは」(新聞切り抜きNo.1~4)
- 5限 VTR「青春学校」、レジメの作り方、分担グループ決め
- 11/ 1 4限 グループ発表「在日コリアンに対する日本の態度」
- 5限 グループ発表「朝鮮学校について」
- 11/ 8 4限 飯田先生を講師に「朝鮮高級学校について」(VTR) 質疑応答
- 5限 インターネットの活用法 (朝鮮学校のホームページ) プレインストーミング「朝鮮高級学校への質問項目」
- 11/15 4限 青春学校・自然塾の芋掘り(11/13)についての報告
- 5限 「朝鮮高級学校への質問項目」を逐一検討→リストの完成
- 11/24 午後 福岡市立香陵小研究発表会(国際理解教育) 参加 公開授業、全体会、分科会に出席
- 11/25 午後 九州朝鮮高級学校訪問 授業見学、質疑応答、部活見学 反省会 (於:折尾ミスタードーナツ)
- 12/ 6 4限 香陵小学校の感想 朝鮮高級学校の感想
- 5限 ディスカッション 「ニューカマー問題」について
- 12/20 4限 発表:志水宏吉「外国人のいる教室」(志水編『のぞいてみよう!今の小学校一変貌する教室のエスノグラフィ』有信堂、1999年、所収)、志水宏吉「学校文化の変革 -ニューカマー問題を手がかりに-」古賀正義編『シリーズ子どもと教育社会学2 <子ども問題>からみた学校世界』教育出版、1999年 2論文の検討

- 5限 クリスマス会 (於:本学演習室1) 「今後の研究の方向性について」→1・13の件 「新聞形式」でのまとめという方向で一致
- 冬休み課題 VTR「朝鮮学校・青春学校」関係3本 映画『月はどっちに出ている』視聴
- 1/13 <ニューカマー問題担当班> 終日 福岡市立香陵小学校にてエスノグラフィ 職朝、朝の会~帰りの会、クラブ活動 <オールドカマー問題担当班> 半日 朝鮮初中級学校に訪問 (授業見学、質疑)
- 1/17 4限 「体験」報告会 ニューカマー問題担当班 オールドカマー問題担当班
- 5限 戸畑小民族学級見学について
- 1/20 午後 戸畑小学校民族学級見学 (昼休み、子どもたちと一緒に遊ぶ) 文講師による講話・質疑応答 反省会 (於:戸畑ギャオカフェ)
- 1/31 4限 民族学級見学の感想 これまでの学習内容の洗い出し
- 5限 新聞記事のスタイル抽出 それぞれになじむ項目の検討と担当者決定
- 2/ 7 4限 新聞記事 (中間報告) 原案の検討
- 2/21 4限 新聞記事 (中間報告) 全体構成、タイトル 今後のスケジュールの検討

「体験学Ⅲ」突入!

世界を知るための

おすすめ番組

(広沢 玲子)

アジア映画劇場

(NHK教育・日曜日午後3時) この番組はタイトル通りアジアの映画を紹介しています。アジア各国の映画からその国の生活の様子や思想を知ることができます。ドラマ系、サスペンス系などいろいろなかジャンルがあります。これ

らの映画を見るときにいつ作られた映画なのか、また映画の背景はいつなのかを確認することを勧めます。なぜならある国の映画を見ると、その映画がその国の昔の生活の様子をわしたものであっても現在のものと勘違いをする危険性もあるからです。また字幕などの言語面においても興味深いものになると思います。

この番組は約3分というすごく短いものです。世界各国の列車に乗り、その列車に乗り合わせた人々からその国の生活の様子などを知り、列車の窓からその国の風景を知ることが出来ます。いろいろな情景に会うことが出来ます。列車は、その国の様子を表しているといえるかもしれません。世界各国の生活の様子を深く知ることが出来ますが、少しでも知りた

いと思うならこの番組から始め

世界ウルルン滞在記

(RKB・日曜日午後10時)

この番組は、タレントが世界のあちこちに行き、そこで5日間ぐらい滞在する。ある家にホームステイをするので、その国の生活に深く入り込み文化を学んでいきます。その文化についてクイズを出していくクイズ番組です。滞在の終わりにタレントがホームステイした家の人々や村の人々との感動的な別れが待っています。またこの番組は多くの人に

世界遺産

(RKB・日曜日午後11時30分)

これは、タイトル通り世界遺産に登録されている各国の有名な建築物、自然が創り出した風景、人間が過去に行つたことの名残などを紹介していく番組です。

編集後記

忙しかったけど、それだけの貴重な体験ができました。 K・N

とても楽しい授業でした。機会があれば行った学校にもう一回行ってみたいです。 Y・Z・W

小学校の新聞係の気持ちを感じました。結構いい出来です。 N・N

いろいろな所でいろんな意見を聞かせていただいてよかったです。 K・I

私のちっちゃな世界が少し広がりました！ Y・H

毎週月曜の4・5限が楽しみでした。こんなに充実した授業は初めて。 M・N

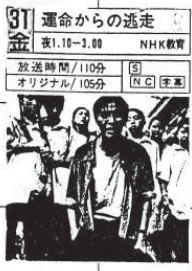
カマサハムニダ!

〜あとがきにかえて〜

2年前期までもちこし、ようやくこのような「かたち」となりました。たいへん運けになりましたが、ここに研究成果を報告させていただきます。まずは本プログラム(子どもと学校理解の体験学Ⅱ)に多大なるご理解と協力いただき、貴重な「体験」をご提供くださった福岡市立香蘭小学校、九州朝鮮高級学校、北九州朝鮮初中級学校、北九州市立戸畑小学校(訪問順)、各校の校長先生をはじめ諸先生方、児童・生徒さんたちに心よりお礼申し上げます。新カリのこの授業ではひよんな巡り合わせで「異文化理解」というこれまで私の研究領域と最も縁遠かったテーマの担当となり、まったく先の見通しのたたぬままのスタートでした。2コマ続きの演習にもかかわらずいつも時間をオーバーするまでこの9人で議論を重ねながら進んで参りました。「まとめ」にあたり、この「体験学Ⅱ」での「学び」を単なる感想文ではなく、「新聞」というスタイルにこだわって再整理し、私たちがなりに表現してみることが出来ました。編集作業は予想以上に手間暇がかかり、そのためインフォーマルな演習(体験学Ⅲ)がこれまでに連続した次第です。

凍てつく寒さとドカ雪の中を歩いた道のり、カルチャーショックに苛まれながら食べたドーナツ、研究室で作った「ただのお好み焼き」のようなチヂミ、そしてなぜかクリスマス会と印象に残る多くの経験をともしました。「体験学Ⅲ」と称してこの編集作業をつづけてきたのは実はこのメンバーと共有する時間を失いたくなかったからかもしれません。最後に、朝鮮半島の歴史の瞬間に新たな懸け橋(タイトル「虹」の原意)の可能性を見いだし、本新聞の日付としましたことを申し添えておきます。 M・M

Table with 7 columns (日, 土, 金, 木, 水, 火, 月) and 12 rows of program listings including titles like '運命からの逃走', '世界の車窓から', and '世界ウルルン滞在記'.



話題作、続々上映中! プレミアウィッチ・プロジェクト「エンド・オブ・デイズ」...



●上映スケジュールお問い合わせ 24時間映画情報ライン TEL.092-272-2222



1 2 3 4... (dialogue from the comic strip) ...